

福島県の放射性物質汚染 被災地の現状と課題

放射性物質拡散からこれまでの現状、
科学的な進展と除染廃棄物処理、地域再生に向けて

【公開講演会】

〈場所〉

長崎大学医学部
ポンペ会館会議室
(坂本キャンパス)

11/24
13時30分～

13:30 開会の挨拶

長崎大学 山下俊一

13:40-14:10

福島県川内村の復興支援の取り組み

長崎大学原爆後障害医療研究所 高村 昇

14:10-14:40 30分

福島県の放射能汚染地域の現状と農業再生に
向けての課題

独立行政法人 国際農林水産業研究センター 万福裕造

14:40-14:50 10分

セシウムの粘土への吸着

産業技術総合研究所 森本和也

14:50-15:20 30分

最先端科学技術により暴かれた福島の土壌に
あるセシウムの実態

日本原子力研究開発機構 矢板毅

15:20-15:30 休憩

15:30-15:50 20分

除染と減容化における鉱物の役割

国際農林水産業研究センター 八田珠郎

15:50-16:10 20分

セシウムのホットスポットとしての調整池

産業技術研究所 鈴木正哉

16:10-16:30 20分

エネルギー・資源循環型営農の方向性

農業・食品産業技術総合研究機構 薬師堂謙一

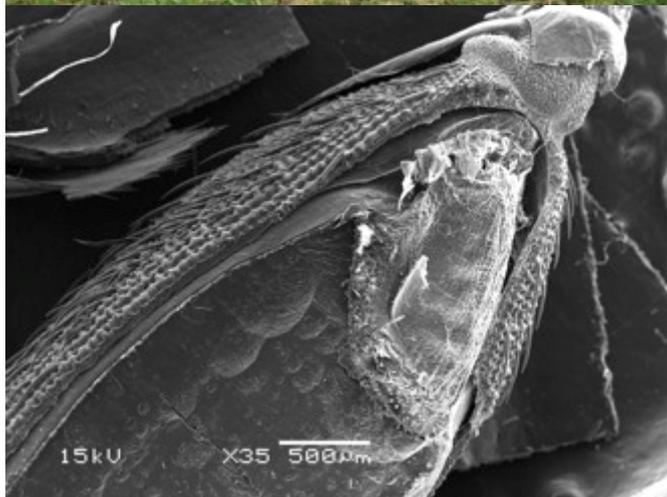
16:30-16:40 10分

産官学連合による研究の紹介

独立行政法人 物質・材料研究機構 山田裕久

16:40 総合ディスカッション 総評

長崎大学 山下俊一



長崎大学福島未来創造支援研究センター 〒852-8523 長崎県長崎市坂本1-12-4

協力 日本原子力研究開発機構、物質・材料研究機構、産業技術総合研究所、
農業・食品産業技術総合研究機構、国際農林水産業研究センター